

氏 名	とよおか せいかい 豊岡 青海
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	甲第 1284 号
学位授与の日付	2022 年 3 月 17 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学位論文題目	Validity of a simple footprint assessment board for diagnosing the severity of flatfoot: a prospective cohort study (扁平足簡易診断ツールの妥当性について)
指 導 教 員	教授 中川 匠（板橋・整形）
論文審査委員	主査 和田 佑一 教授（ちば・整形） 副査 澁谷 勲 准教授（溝口・整形） 副査 三木 勇治 講師（溝口・整形）

論文審査結果の要旨

主論文: Validity of a simple footprint assessment board for diagnosing the severity of flatfoot: a prospective cohort study

BMC Musculoskeletal Disorders 22, Article number: 285. 2021 共著論文

本論文は、簡易な単純フットプリント評価ボードを用いて、扁平足を正確に診断する方法となり得るかを明らかにすることを目的としている。

扁平足の早期診断には臨床所見、画像診断、従来型フットプリントを用いた方法があるが、臨床所見は診断医個々人の主観や経験に左右されやすく、画像所見による診断は誤差が多い。また従来型フットプリントによる診断は計測の煩雑さが指摘されてきた。

著者らは、足の愁訴を持つ患者 35 名に CT スキャンを実施し、従来扁平足の評価に用いられてきた navicular index、tibio calcaneal angle、calcaneal inclination angle を測定し単純フットプリント評価ボードのスコアとの相関を解析した。結果、踵の中心点からフットプリントの内側頂部を結ぶ線がどの足指にコードが通っているかを調査する単純なフットプリント評価ボードが、CT スキャンによる詳細な画像診断と有意に相関して扁平足の検出に有用であることが明らかとなった。

今後は扁平足を発症しやすい患者背景の検索、アーチサポートなど装具作製の評価基準とするなど臨床への応用が強く期待される。

本研究は単純フットプリント評価ボードによる扁平足評価法が CT に変わる簡易で有用な方法であるという知見を示しており、2021 年 8 月 2 日に行われた学位審査会においても申請者は当該領域の十分な知識と経験を有していることが確認された。

学位授与に値することを判定した。